



Title	ごあいさつ
Author(s)	川勝, 傳
Citation	癌と人. 1985, 12, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24131
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ご あ い さ つ

理事長 川 勝 傳*

皆さんには、益々ご清祥のこととおよろこび申しあげます。

平素は、財団法人「大阪癌研究会」に対しまして格段のご協力をたまわり厚くお礼申しあげます。

ガンによる国民の死亡は少しも衰えず、毎年ガンによる死亡が国民死亡率の第1位を占めるようになりました。また、ガン死の内容も大きく変りつつあります。すなわち、幸いにも子宮ガンによる死亡は急激に減少し、胃ガンもまた少しづつ減ってきております。しかし肺ガンによる死亡は急増し、乳ガン、大腸ガンもじりじりと増えてきております。そのような状態で、一方では、その発生が減りつつあるにもかかわらず、他方ではガンによる死亡が増えつつあるという複雑な様相を示しているのであります。ガンの早期発見、治療の進歩にも著しいものがありますが、幾多の隘路もありまして、関係各位の努力にもかかわらず、ガン死の恐怖は、依然として我々国民の上に大きくのしかかっております。

財団法人「大阪癌研究会」が、ガン撲滅のための事業目標をかけて、ガン研究機関への学術研究助成、ガンの検診普及活動に地道に努力をつづけておりますのも、こうした見地に立っております。

ガンの早期発見、早期治療が唯一の予防手段であります現在、財団法人「大阪癌研究会」としては、その社会的使命を全ういたしたく、乳ガン、胃ガン、大腸ガンなどの集団検診の普及活動を積極的に展開して参りました。乳ガンの集団検診の受診者数は年々増加の一途をたどっており、いまや大阪府下各市町村、自治体との協力態勢によって、吹田、箕面、大東、松原、豊中、池田、藤井寺、摂津、四條畷、羽曳野、茨木及び河南、美原の各市町は大きく検診の環がひろがりつつあり、その成果は着々とあがっております。また、便潜血反応検査による大腸ガンを主とする消化管ガンの集団検診も並行して行われ、さらに財団法人「大阪対ガン協会」との共催によって大きく拡がりつつあります。

このように本研究会の目的が遂行できますのも、大阪大学微生物病研究所附属病院外科、放射線科の研究と実践行動のたまものであります、この活動を深く理解していただいて、多大なご協力、ご支援をたまわっております、大阪府下各市町村、自治体、大阪商工会議所、吹田母子会、財団法人「大阪対ガン協会」に対しまして厚く感謝の意を表したいと存じます。

* 南海電気鉄道株式会社取締役会長

このように、本研究会としては、財団法人大阪対ガン協会、大阪商工会議所あるいは大阪府下各市町村、自治体のご支援によって検診活動の環をひろげて、一大国民運動といたしたい所存であります。その精密検診の重要性、さらに早期治療の重大性にかんがみ、大阪大学微生物病研究所附属病院の絶大なご協力を心からお願ひ申し上げる次第であります。

政府においても対癌総合10ヶ年計画をたてていますが、現実はきびしく、いますぐにでもやれるところのガンの早期発見から地道にやることが何よりも大切なことであると思います。

ガン征圧を通じて、本研究会の活動も一層重要な役割を持つものであることを自覚し、今後ますます努力を重ねてまいる所存でございますので、皆様の強力なご協力、ご支援を切にお願い申しあげます。

なお、本年6月29日には「国際大阪がんセミナー」を開催いたしたいと考えています。

